

2022年度「TUC AI・データサイエンス」プログラム 自己点検・評価結果一覧

高崎商科大学 カリキュラム検討委員会WG

点検・評価項目	点検結果	評価結果	改善・向上に向けた計画
プログラムの履修・修得状況、全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況について	プログラム開設年度である2022年度については、該当開講科目は必修の2科目であり、状況は以下の通りである。 データリテラシー：履修者57名、修得者53名、修得率92.3% 情報処理Ⅰ：履修者38名、修得者38名、修得率100%	プログラム初年度にて、今年度の該当2科目は必修科目であり、修得状況（修得率）について、特段の問題はないと判断できる。	プログラム構成科目の全学必修科目を増やすことと共に、プログラム履修者を増やす改善をする。
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度と学修成果について	2022年度開講のプログラム科目「情報処理Ⅰ」及び「データリテラシー」の授業評価アンケートより、理解度を分析した。 アンケート項目の「到達目標を達成（理解）できた」との質問に対して、以下の状況である。 5：そう思う（21.7%） 4：どちらかといえばそう思う（53.6%） 3：どちらでもない（20.3%） 2：どちらかといえばそう思わない（3.9%） 1：そう思わない（0.5%） 以上のとおり、5点満点において平均「3.92ポイント」、8割近くの履修者が概ね授業内容を理解している。	アンケート結果から、一定程度の理解と学修成果の達成がされしていると判断できる。しかし、理解不足と判断される履修者への対応については、今後の改善が必要である。	プログラム履修者の理解度について、低い（1～3ポイント）と判断される理解不足の履修者対策としては、質問の時間等設けるなど、次年度の授業運営における改善を図り、向上していく。 また、成果に関して、今後はプログラムそのものに関するアンケートも実施し、プログラム全体の理解度、学修成果の評価に基づき、授業改善に向けたPDCAの実施より、プログラムの改善を図る。
教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価について	2022年度より開設したプログラムであるため、現時点プログラム修了者はいない状況である。		今後、修了者については、キャリアサポート室にて、プログラム修了者就職先に対し、就職後の活躍状況や能力評価等、調査を予定する。また、プログラム受講者については、卒業年次においてプログラム全体のアンケート調査を行う。